



STEP 3 「音の壁」を確認 10分

- STEP 2 で書き取った英文を、下のスクリプトと照らし合わせて確認してください。間違えた箇所にはスクリプトに下線を引いておきましょう。
- スクリプトを見ながら音声を通して聞いて、1. で下線を引いた箇所を確認します。
- 右ページの「音の捉え方」を読んで、音声変化について理解を深めましょう。

STEP 4 「意味の壁」を確認 10分

- スクリプトと右ページの訳を見て、内容を把握します。意味が分からなかった箇所については、スクリプトと訳の両方を四角で囲みましょう。
- p. 028 の「語句解説」を読んで、語句について理解を深めましょう。



15

Not long ago, I was talking with a Japanese friend. He told me a story of when he was listening to an explanation in English. He said, "It was very embarrassing. The other guy kept talking and talking, probably because he thought I understood. I didn't know what to do. I didn't want to interrupt him with questions, but the more he talked, the less I understood. When he finished and we began to discuss the topic, he realized that I didn't really understand anything. He said he was sorry. Then he asked me why I didn't stop him and said he's always happy to explain."

Has this ever happened to you? What's more polite, to listen without understanding or interrupt with questions? Well, if you're speaking English, it's much better manners to interrupt. The unwritten rule is if you don't ask questions, then you understand everything.



16

In fact, for nonnative speakers of English, interrupting is definitely recommended. You're actually being kind and showing that you're interested in the conversation. That's good manners. And there's a bonus — the other person will be able to adjust to your level of English so you won't need to interrupt as much! All you need are simple phrases like: "Excuse me. Can you repeat that?" "Can you speak more slowly?" "What does that mean?"

By interrupting, you'll show them that you are interested and that will help build a stronger relationship. That's why I call it "Polite Interruption."

音の捉え方

強弱のルールに慣れよう



冒頭の I was talking with は、was と with が非常に弱く発音されていますね。一般動詞は内容を理解する上で重要なので、強調して発音されますが、be 動詞は、前後の内容がイコールであることを示す、「1 + 1 = 2」という数式の「=」みたいなものなので、内容を理解する上ではさほど重要ではなく、このように弱く発音されます。前置詞も、後に続く名詞（というか、「名詞」の「前」に「置く」から「前置詞」というのですが）の方が重要ですので、名詞を際立たせるためにも、弱く発音されるのが一般的です。

その後の he thought I understood（4行目）でも、thought、understood はいずれも一般動詞なので、he と I は、それぞれ動詞とセットになって弱く発音されていますね。

また why I didn't stop him（8～9行目）も、聞き

取りが難しいと感じられたかもしれません。ここでは Why、didn't、stop が強調され、I や him のような代名詞は、話し手が特に強調したい意図がなければ、弱く発音されます。

日本人がやりがちなのは……

日本人が英語を話すのを聞いていると、主語をむやみに強調しているのが目立ちます。例えば、when I was a high school student という時に、なぜか I を強調するのです。「あのですねえ、あなたじゃなくって、ワ・タ・シ・ガ！ 高校生だった時に」と言いたいのならそれでもいいのですが、そうでなければ、こういった話し方の癖は直しておきましょう。自分でも「ウェナーズ」のようにさらっと発音できるようにしておくと、聞き取りが楽になりますよ。

訳 ついこの前、日本人の友人と話していた時のことです。彼は私に、英語で説明を聞いた時の話をしてくれました。彼の話はこうです、「とても恥ずかしかったです。相手は延々と話し続けました、おそらく私が英語を理解していると思っていたのでしょうか。私はどうしたらいいのかわかりませんでした。質問をして、彼の話さえぎるようなことはしたくなかったのですが、彼が話せば話すほど、私はますます理解できなくなりました。彼が話し終えてから、そのトピックについて二人で話し合い始めたところ、彼は私が実際にはまるで理解できていなかったことに気付いたので。彼は私に謝りました。その後、なぜ途中で自分を止めなかったのかと尋ね、いつでも喜んで説明するから、と言ってくれました」。

あなたにもこういうことが起こったことはありますか？ 理解しないまま聞くのと、質問して話をさえぎるのと、どちらがより礼儀正しいのでしょうか？ まあ、英語で話しているなら、さえぎる方がずっと正しいマナーと言えます。質問しないのであれば、全てを理解

している、というのが暗黙のルールなのです。

実際、英語が母語でない人たちには、相手の話をさえぎることを断然おすすめします。実は、その方が親切ですし、あなたがその会話に興味を持っていることを示すことになるからです。これは良いマナーです。さらなる利点もあります——相手は、あなたがたびたび話をさえぎらなくてもいいように、あなたの英語のレベルに合わせるができるのです！ あなたに必要なのは次のような簡単なフレーズだけです。「すみません。もう一度言ってもらえますか？」「もう少しゆっくり話してもらえますか？」「それはどういう意味ですか？」

話をさえぎることで、あなたは自分が興味を持っていることを相手に示し、そうすることで、より強い関係を築けます。だから私は、これを「礼儀正しく話をさえぎること」と呼んでいるのです。